

THE WEEKLY NEWS

2011～2012 年度
国際ロータリー会長
国際ロータリー
第 2790 地区ガバナー
第 5 分区ガバナー補佐

カルヤン・パネルジー

山田 修平

釜田 英之

鴨川ロータリークラブ

会 長	佐藤 信也
副会長	武田 将次郎
幹 事	羽鳥 鋭一
クラブ広報委員長	脇坂 保雄



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

今週のプログラム
クラブフォーラム

次週のプログラム
クラブ協議会

例会日 (火) 12:30～13:30 事務所 〒296-0001 鴨川市横渚 1524-6 TEL 04-7093-2001
例会場 鴨川シーワールドホテル URL <http://www.kamogawa-rc.com>

例会報告 2011年10月11日

12:30

1. 点 鐘 会長 佐藤 信也

2. ローターソング斉唱

3. 幹事報告 幹事 羽鳥 鋭一

4. クラブ研修 伊藤 正人

5. 出席報告

6. 点 鐘

13:30



会長あいさつ 会長 佐藤 信也

先週の5日水曜日に、羽鳥幹事と佐藤みさ子社会奉仕委員長と3名で、木更津東RCへメイクアップして参りました。

この木更津東RCは、山田ガバナーの所属クラブで、先般の東日本大震災支援基金で、鴨川青年の家へ避難されておられる障害者団体に、支援活動を行っている途中経過報告と、支援策をご採用頂いた御礼を兼ねて伺いました。

山田ガバナーは大変お忙しく、事前に当日ご欠席されている事は分かっていたのですが、当支援活動の資料(リリース文、新聞記事掲載のコ

ピー等)を持参して、内田会長に手交し、後日山田ガバナーへお渡し頂けます様、お願いして参りました。

当日、約30分位前に会場へ到着したのですが、会場が資料と違う旧ロイヤルヒルズ八宝苑だった為、間違っって木更津RCの例会ではないかと焦りました。

それはそれで、何かのご縁でメイクアップさせて頂いたと解釈すれば、良いのではないかと思います。

羽鳥幹事が会場に確認に行ったところ、間違いなく木更津東RCの例会でした。

ほっとしながらも、既に会員の皆さんは昼食を摂られておられ、例会前に食事を済ませてしまう事が分かり、あわててメイクアップの手続きを終え、急いで食事を摂らせて頂きました。

テーブルは円卓で6卓あり、それぞれ5～6名の方が着席されておられました。

同席させて頂いた大森会員と綱島会員とお話させて頂き、仕事柄かつて鴨川には頻繁に通われ、相原氏や本多会員とも顔見知りとの事でした。

又、料亭月村のお話もされ、何回か行かれたそうです。

みさ子会員が居なかったら、私と羽鳥幹事とでは、古いお話をされても、分からなかったと思います。例会は食事終了後12:30より開始され、きっちり1時間取り行われました。

SAAの方がタスキをかけて、正面と反対側の入口で、司会進行をされました。

来賓としてご紹介頂き、一言挨拶を行って参りました。

幹事報告の後、会員誕生日のお祝いがなされ、ブレ

ゼント手交後ハッピーバースデーソングを全員で合唱、又、結婚記念日のお祝いも行われ、お名前が紹介されました。

プレゼントは、花束がご自宅に送られるとの事で、大変お洒落に感じました。

やはりガバナー輩出クラブは、かなり大変な様で、地区記念ゴルフ大会は、1年前から準備されていたそうで、無事事故も無く終了した事で、後日慰労会が開催されるとの事でした。

又、11月の地区大会の準備も大変そうで、次週には各会員の役割分担を発表されるとの事でした。

他にロータリーの友の説明が、担当委員からなされ、面白いなと思いました。

ニコニコBOXは、予め短冊に記入され、寄付金を受け取り、その短冊を担当委員が読み上げるスタイルでした。

米山月間という事もあり、隣の地区の君津RC所属の米山委員の方と、中国からの奨学生となる女子大生も出席され、卓話をされました。

ご年配の方が多く様にお見受けしましたが、それだけに格調高い例会で、都会と言う事もあってか、非常にスマートな印象を受けました。

ロータリアンでなければ例会場に入る事自体、躊躇してしまった事と思います。

さすがにガバナーを輩出するクラブは、言葉には言い表せない違いを、何か感じさせられました。

今後は、織田直前ガバナーの所属されておられます銚子RCと、津留新世代奉仕委員長が所属されておられます市川RCに、支援活動の経過報告と御礼を兼ねて、メイクアップする予定でございます。

大変長くなりましたが、これで会長挨拶とさせて頂きます。

有難うございました。



幹事報告

幹事 羽鳥 鋭一

* ガバナー事務所より、ガバナー月新13号54項の記載名簿について、誤りがありましたので、訂正してくださいとの事です。(各自テーブルに配布)

* RI会長エレクト田中作治様より、世界ポリオデーに参加しよう！公開イベントチャリティーレセプションの案内が届いております。

日時10月24日(月) 15:30~17:30 題 ポリオ撲滅公開イベント/パネルレセプション

会場青山学院大学総研ビル12階

主催認定NPO法人世界の子供にワクチンを日本委員会(JCV)・NPO法人日本リザルツ

同日 19:30~21:30 チャリティーレセプション

会場EX 愛宕(あたご)グリーンヒルズ(東京都港区)

主催 : 世界ポリオデー2011 実行委員会(共催国際ロータリー、ビル&メリンダゲイツ財団、日本グローバルヘルス協会)

事前登録が必要となります。

* 得居ガバナーエレクトより第1回ガバナー補佐会議の案内が届いております。

日時11月20日(日) 12:00~16:00 場所ホテルザマンハッタン

* ボーイスカウト鴨川第1団様より定期総会の案内が届いております。

日時10月30日(日) 10:30~

=例会変更及び休会のお知らせ=

* 千倉ロータリークラブ

10月14日 休会 (情報研究会の振替)

11月11日 休会 (地区大会の振替)

11月25日 夜間例会に変更(魚拓荘鈴木屋さんにて)

クラブ研修

伊藤 正人



第3回 鴨川ロータリークラブ研修セミナー

4. ロータリー財団

1) 沿革

1917年 アーチ・C・クランチにより創設、当初米貨26ドル50セントでスタート

「**全世界的な規模で慈善・教育・その他の社会奉仕の分野で、より善き事をするために基金をつくろう**」

1928年 ロータリー財団と命名

1931年 信託組織となる

1983年 米国イリノイ州のもとに非営利財団法人となる

07-08年度、08-09年度には年間2億ドル以上の寄付額

2) ロータリー財団の使命

ロータリアンが、**健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることである。**

3) 資金活用状況 (2005-2010年合計)

単位：米貨万ドル

収入		支出			備考
年次寄付：	50,990	プログラム補助金・奨学金	人道的補助金	22,820	
恒久基金：	6,140		教育的プログラム	11,410	
ポリオプラス基金	38,410		ポリオ・プラス	38,130	
その他の使途指定寄付	2,750		その他	1,180	
寄付小計	98,290		小計	73,540	
投資収益	210	プログラム運営		9,150	
(2007~2009損失)	(▼ 20,800)	運営費		10,100	
合計	98,500	合計		92,790	

寄付の種類について

① 年次寄付：使途を決めない寄付、3年後に寄付金をプログラムに利用。

3年後に使われる理由は、プログラムの企画、選択する時間的余裕をもつため。投資収益は事務局の運営費、プログラム管理費、寄付増進費に使う。

クラブ名義寄付：祝祭創立記念など

個人名義寄付：ポールハリスフェロー、マルチプルポールハリスフェロー、財団友の会

② 恒久基金：元金を使わない基金、投資収益のみを財団プログラムに利用

ベネファクター、子供基金、メモリアルコントリビューター

③ 使途指定寄付：使途を決めて寄付。

ポリオプラス (ロータリー2億ドルチャレンジ) など

シェアシステム：

① ロータリアンは、世界中のロータリアンとその資産をシェア (共有) する

② プログラムの意思決定の権限の一部を地区にシェア (共有) する

③ ロータリアンは、財団を通じて世界中とロータリーをシェア (共有) する

08-09年度、世界を震撼させるような経済危機が発生し、ロータリアンによる奉仕に対する劇的な需要の増加に対して、その需要にこたえるためのリソースが減少するというジレンマに陥りました。奉仕に対する要望は、RIのオンラインデータベース **ProjectLINK** で閲覧できます。

68カ国から570件の模範プロジェクト

5) 「未来の夢」計画(Future Vision)について

経緯：2005年4月 管理委員会が未来の夢委員会の任命を承認、以後世界中のロータリアンを対象に未来の夢アンケート調査を実施、2007年4月に規定審議会が未来の夢計画の使命、標語、優先事項を支持。2008年6月に管理委員会が未来の夢計画を承認。 財団の使命を新たにするとともに、ロータリアンが多岐にわたるプロジェクトを実施することで、多大な影響をもたらし、持続可能な成果を生むことができるよう、一層効果的で効率のよい支援方法
なぜ、未来の夢計画なのか？

- ・ロータリー財団の100周年に備える／ ・膨大な成長
- ・慈善分野で重要な存在であり続ける／ ・発展していく組織
- ・ロータリアンからの意見／ ・継続性、重要性、簡素化

2017年ビジョン：第一級の財団

「未来の夢」計画とは	未来の夢の目的
<ul style="list-style-type: none"> ・ロータリー財団の長期計画 ・簡素化された補助金モデル ・成果をもとに前進する方法 ・プロジェクトと活動の連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラブプロジェクトの成果を広げる ・補助金活動全般の焦点をさらに絞る ・これまで以上に決定権を地元ゆだねる ・他団体と協力する ・補助金の手続きを簡素化する ・存在感とイメージを高める

「未来の夢」計画は、2010-2013年度の試験期間を経て、2013-2014年度からは全世界で新補助金を採用し、旧プログラムはすべて廃止



2011.10.17 情報研究会

◎ ニコニコBOX

氏名	メッセージ
栗原 義人	誕生祝
本多 利夫	誕生祝
鳥海 稔	年賀葉書
佐藤 みさ子	誕生祝

◎出席報告

例会日	会員	免除	出席	MU	出席率
10/11	29	2	20	3	79%
10/4	29	2	15	2	確定 61%